
Magic Star Prime

USB メモリー活用法マニュアル

収録曲

平均率クラヴィーアより第一番

さくらさくら

Memories

収録の SMF データの無断複製は固く禁じます。
お客様の仕事の大事なデータなどの保護のために
ミュージックデータ用 USB メモリーと個人的な
大切なデータとは別のメモリーをご使用ください。

この度はピアノ消音ユニット Magic Star Prime のお買い上げありがとうございます。
Magic Star Prime ユニットにはパソコンと簡単に連動できる MIDI USB PORT
(mini B タイプ 5 pin : 前面左側) と USB メモリースティック専用ポート
(前面右側) が装備されています。

USB メモリースティックにご自身の録音を保存したり、またスタンダード MIDI
ファイルデータ (拡張子 .MID) を保存ファイル毎に連続再生させて BGM として
聞く事や、再生データの一部パート演奏を消して、その演奏に合わせて鍵盤で
ピアノ演奏を合奏することなどが出来ます。

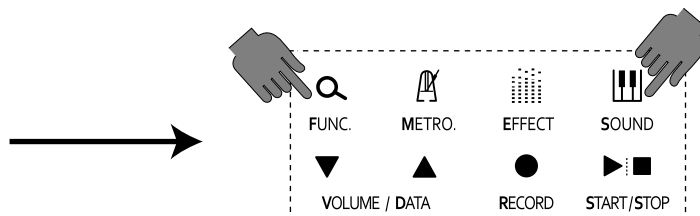
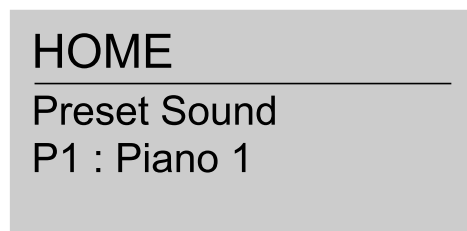
このマニュアルは付属の USB メモリーの収録曲に合わせて基本的な使用方法を
説明していますので、マニュアルに沿って USB メモリーを再生させたり、
ピアノパートを消してオーケストラバックに合わせて演奏を楽しんでみましょう。

まずはじめに	2
曲目の選択	3
曲の連続再生	4
パート別の演奏	5
ボリューム、テンポ調整	7
フォルダ内収録曲の連続再生	9
バックライトの再点灯	10
memories 楽譜	11

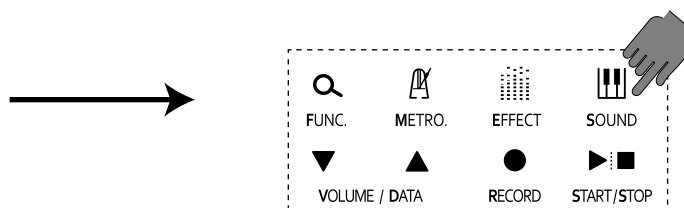
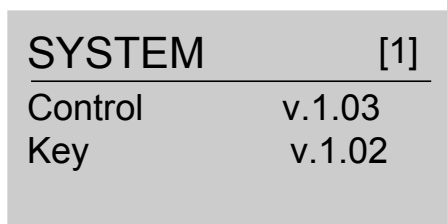
まずはじめに

1, Magic Star Prime コントローラーの現在のバージョンをチェックします。

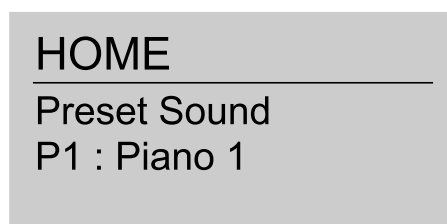
電源を入れコントローラーの起動を待ち、左の HOME モード画面になることを確認します。
そして、HOME モードで [FUNC.] と [SOUND] を同時に押しますと、本体のシステム設定モードに変わります。



2, コントローラーのバージョン 1.03を確認しましたら、[SOUND] を押し HOME モードへ戻ります。



2016 年 12 月現在のコントローラー最新バージョンは V1.03 です

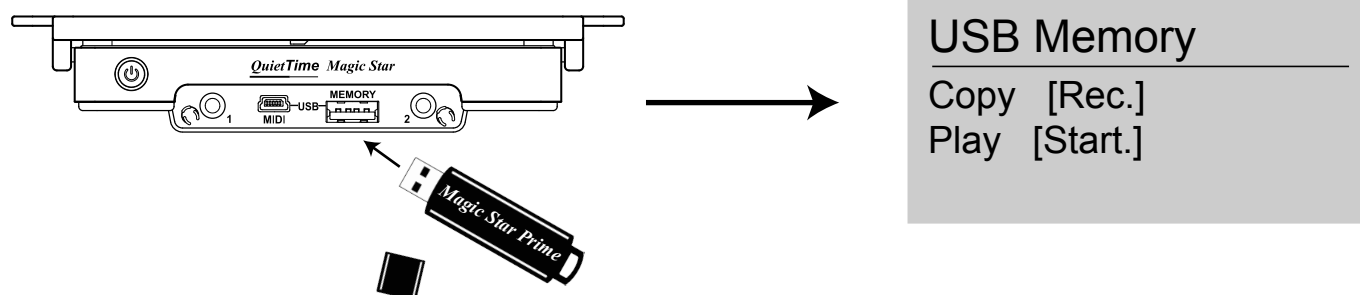


HOME モードへ戻ります。

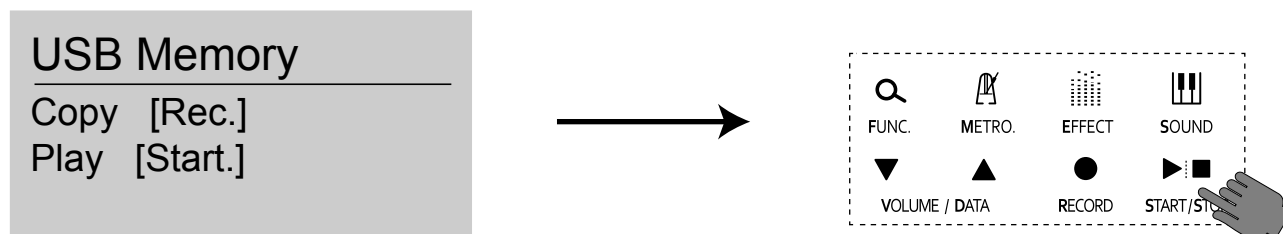
USB メモリーによる演奏を十分に楽しむためには、コントローラーのバージョンが最新である必要があります。最新のバージョンにアップデートするには取付け技術者もしくは、下記 HP のサポートへお問い合わせください。
www.magic-star.jp サポートメール support@magic-star.jp

曲目の選択

- 1, Magic Star Prime コントローラーの前面の USB ポートへ USB メモリーをしっかりと挿入しますと下記の画面に変わります。



- 2, USB Memory 画面にて START/STOP [▶■] を押すと PLAY 画面に変わります



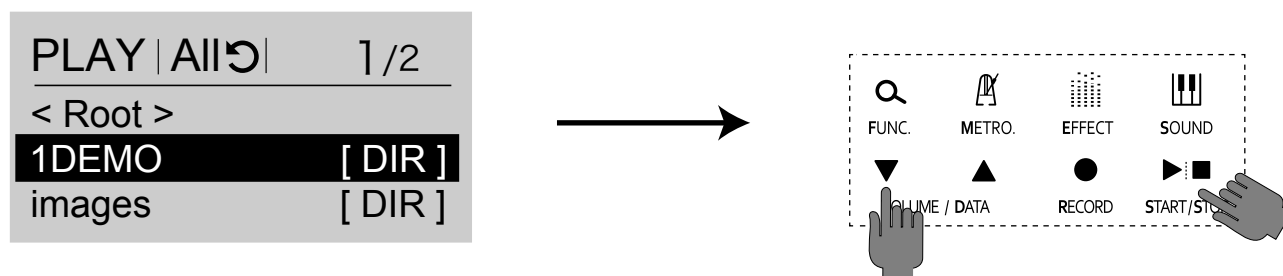
- 3, PLAY 画面にて [▼] で 1DEMO を選び START/STOP [▶■] を押します。

DEMO 曲集フォルダ（階層）に移ります。

そして、フォルダ内の MIDI データの検証が自動的に始まります。

検証後に再生可能データの曲目一覧が並びます。

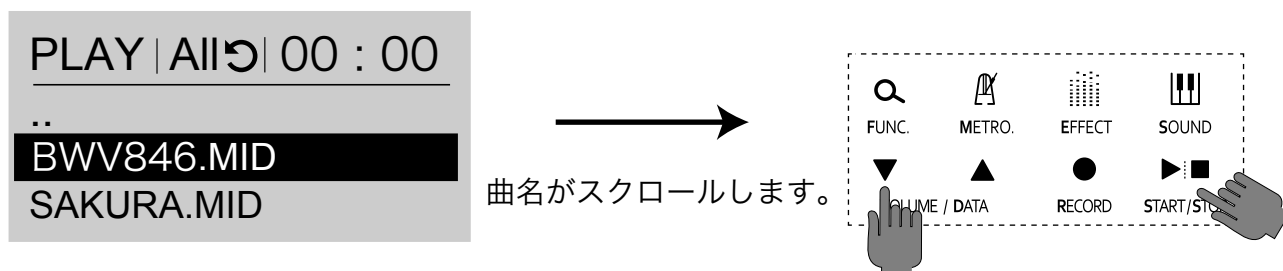
(壊れた MIDI データなど、再生不可能なデータは一覧に現れません。)



- 4, まずはデモ一曲目の BWV846.MID を [▼] で選んで見ましょう。

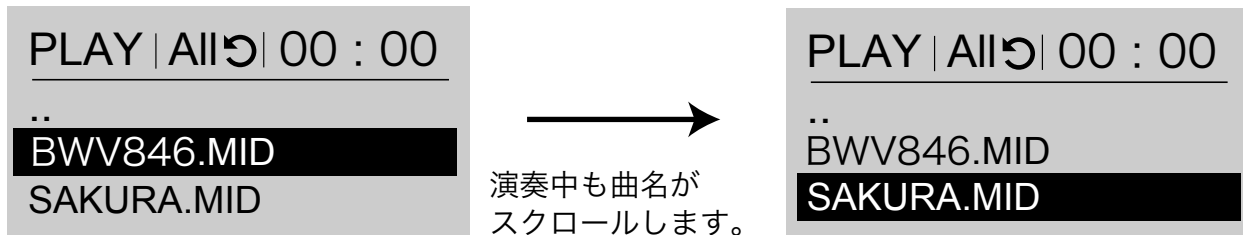
曲名がスクロールすれば、再生スタンバイ状態です。

START/STOP [▶■] を押すと演奏時間がカウントされながら、再生されます。



曲の連続再生

5, BWV846.MID の演奏が終わると、つづけて SAKURA.MID が演奏されます。



下記の楽譜を見ながら、鍵盤で一緒にメロディーを弾いてみましょう。

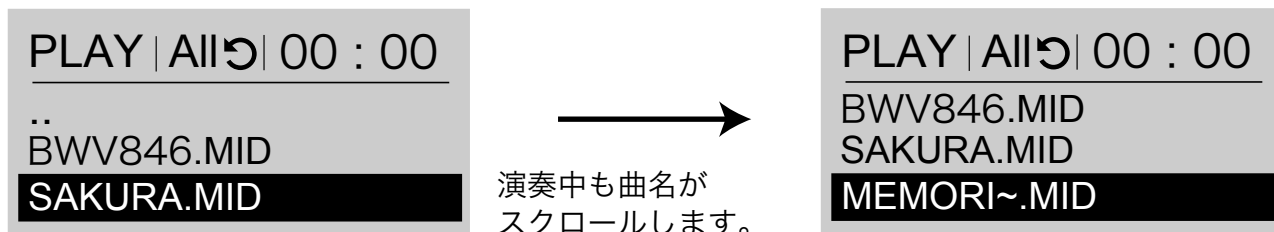
さくら さくら



パート別の演奏

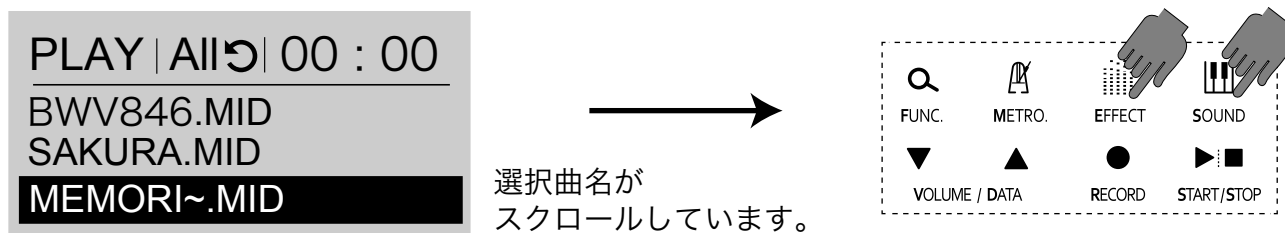
6, SAKURA.MID の演奏が終わると、つづけて MEMORIES.MID が演奏されます。

最後まで演奏されましたら、一度 START/STOP [▶■] を押し、演奏を止めましょう。



7, 次に MEMORIES.MID のピアノ右手パートだけ消して見ましょう。

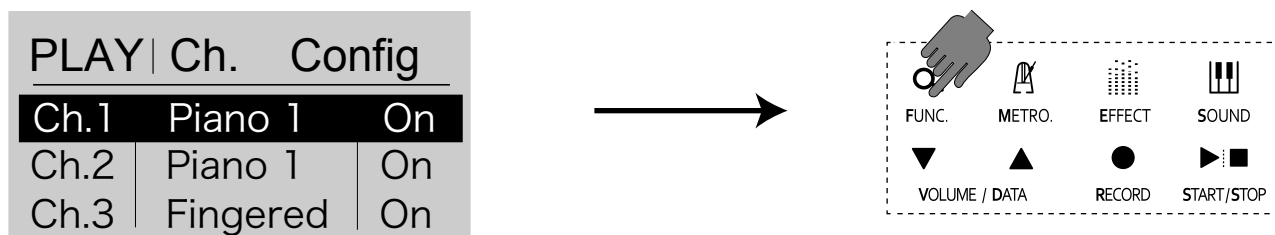
選択曲 MEMORI~.MID がスクロール中に [EFFECT] と [SOUND] を同時に押します。



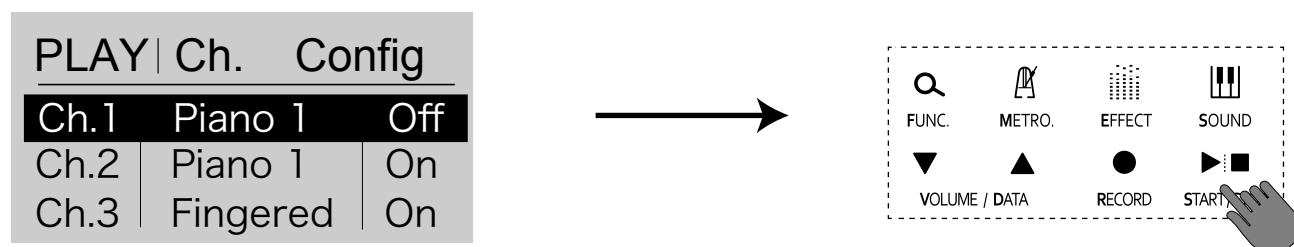
8, PLAY CH. (プレイチャンネル) の画面表示に変わりましたら、

最上段 Ch.1Piano On が選ばれた状態になっていることを確認します。

[FUNC.] を押すと、Off に変わることを確認してください。



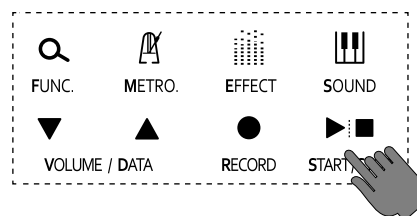
9, 再度 START/STOP[▶■] を押すと曲目スクロールに戻ります。



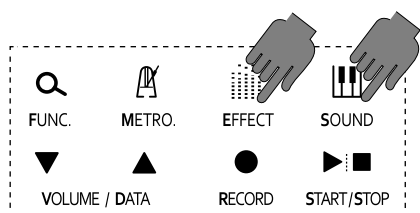
10, START/STOP [▶■] を押すとピアノ右手パートのみが消えますので、
その他のパートだけの演奏に合わせて右手だけでメロディーを
弾いてみましょう。（楽譜が同梱されています。）



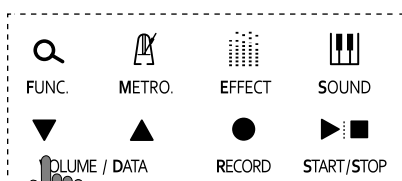
選択曲名が
スクロールします。



11, 通常演奏中にも [EFFECT] と [SOUND] を同時に押すと演奏チャンネル
選択画面に移り、各チャンネルの ON - OFF が可能です。
各チャンネル [▼], [▲] で選び、[FUNC.] を押すと ON-OFF



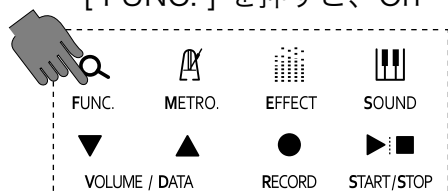
PLAY Ch. Config		
Ch.1	Piano 1	Off
Ch.2	Piano 1	On
Ch.3	Fingered	On



各チャンネルを [▼], [▲] で選ぶ

PLAY Ch. Config		
Ch.1	Piano 1	On
Ch.2	Piano 1	On
Ch.3	Fingered	On

[FUNC.] を押すと、On - Off 切り替え



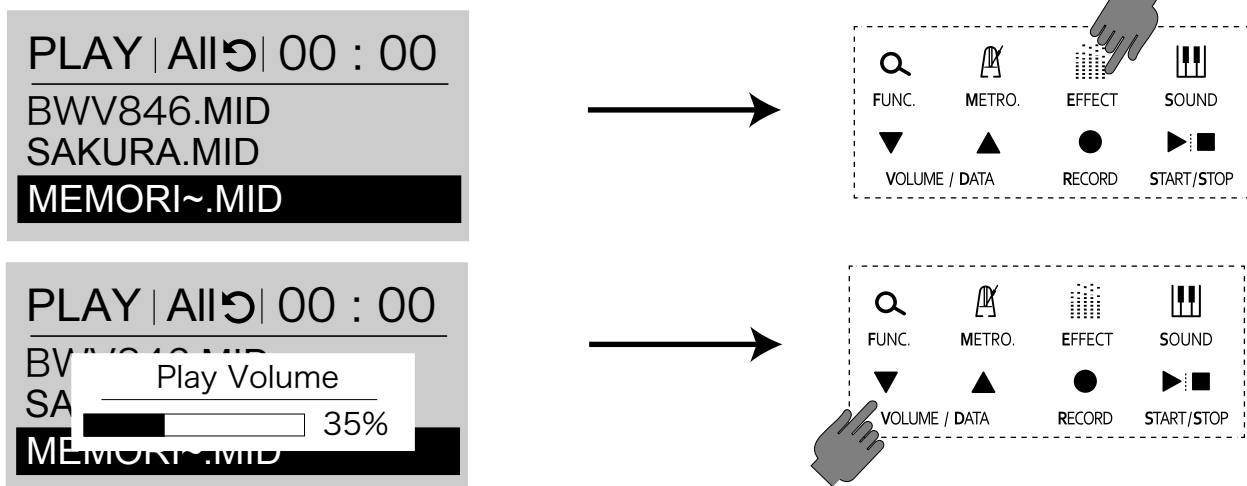
PLAY Ch. Config		
Ch.1	Piano 1	On
Ch.2	Piano 1	Off
Ch.3	Fingered	On

ボリューム、テンポ調整

1, バックの再生音量とピアノ演奏の音量バランスを調節することができます。

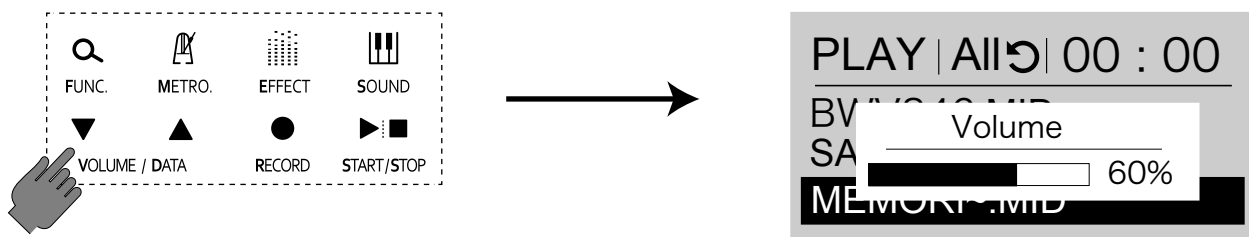
データ演奏中に [EFFECT] を押すと Play Volume が表示されます。

[▼], [▲] で伴奏再生音量だけ増減され、通常のピアノ演奏ボリュームは変わりませんので、ピアノ演奏とのバック演奏との音量バランス合わせができます。



Play Volume (バック演奏) だけの音量調節になります。

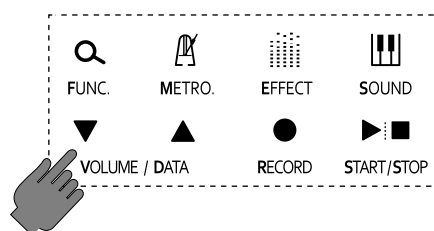
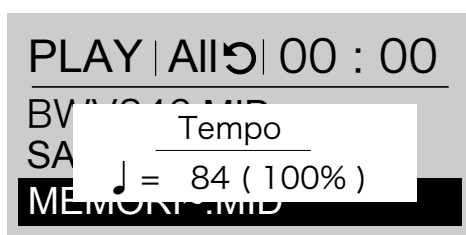
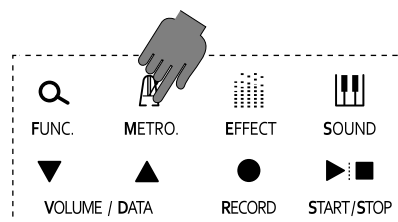
2, 通常演奏中に [▼], [▲] を押すと全体のボリュームの増減が可能です。



但しスピーカーを Line Out に接続して聞いている場合に取扱い説明書 31 ページのシステム設定機能の 5.Line Out 出力で「一定出力」を設定中は、上記のボリューム調整は働きません。

3, 通常演奏中に [METRO.] を押すと曲のテンポを変更できます。

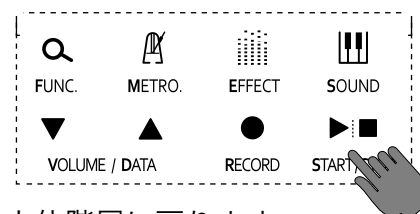
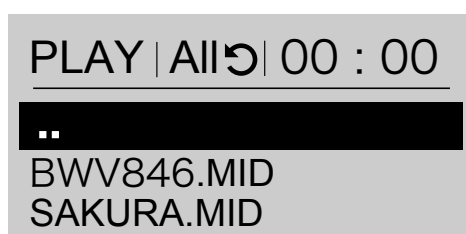
[▼], [▲] でテンポを変更します。



4, MIDI 再生チャンネルの ON - OFF 設定をしますと、そのフォルダ内の連続演奏曲全ての曲が指定チャンネルの ON - OFF 状態で再生されます。

5, 他のフォルダ（曲集）を選ぶには、最上部の [..] もしくは [.] まで移動し START/STOP [►■] を押すと、上位階層（各フォルダがあるところ）へ 戻ります。

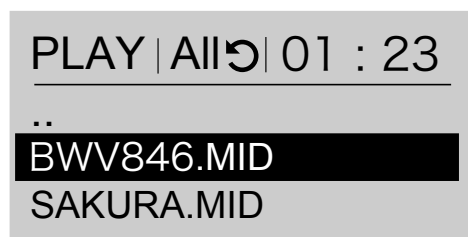
最初に [ROOT] を選ぶとルート階層に保存された、データ曲名が並びます。



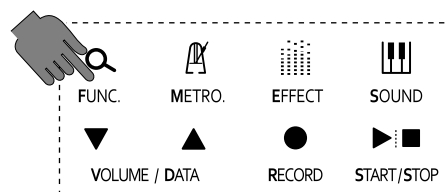
上位階層に戻ります。

フォルダ内収録曲の連続再生

1, 曲の再生中に [FUNC.] を押すと連続再生の方法が変わります。



演奏中も曲名がスクロールします。



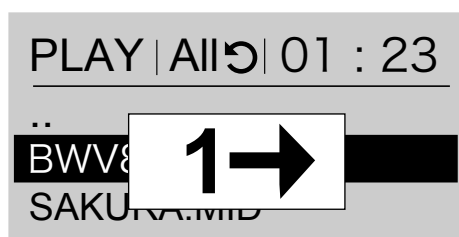
全曲リピート再生



全曲一回だけ再生



現在の再生曲のみ繰り返し再生

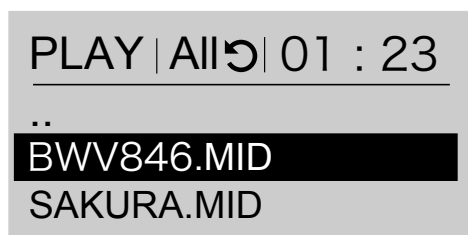


現在の再生曲一回だけ再生

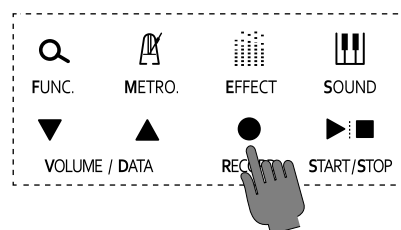
2, 曲の再生中に START/STOP [▶■] を押すと曲が停止し、曲目スクロールに戻ります。

再度 START/STOP [▶■] を押すと BWV846.MID の演奏が始まり、を最後まで再生されましたら、次に SAKURA.MID が続けて再生されます。

3, 曲の再生中に RECORD [●] を押すと次の曲にスキップし、再生が始まります。



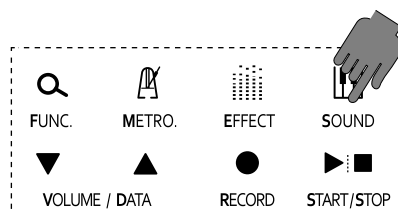
演奏中も曲名がスクロールします。



次曲の SAKURA.MID ヘスキップ

通常演奏中は 10 秒後にバックライトが自然に消えます。

演奏曲の確認など、ライトを点灯させるには、演奏中に [SOUND] を押すと 10 秒間バックライトが点灯します。



演奏データはインターネット上で有料ダウンロードできるサイトがあります。

演奏ミュージックデータ（スタンダード MIDI ファイル）ダウンロードお勧めサイト

ヤマハ音楽データショップ www.music-eclub.com/musicdata/

ローランドネットワークサービス www.roland.mu/consumer/index.html

各社共にバックオーケストラが付いた、ピアノ演奏曲が豊富にあります。

オーケストラバックのピアノ曲をダウンロード（有料）後、パソコンでわかりやすい題名に書き換えて USB メモリーへ保存後、Magic Star Pro でご利用ください。

ピアノチャンネルを消す場合ですが、

ヤマハ曲集は Ch.1 にピアノ右手パート、Ch.2 にピアノ左手パートを割当て

ローランド曲集は Ch.4 にピアノ右手パート、Ch.3 にピアノ左手パートを割当て

されていることが多いので、どの Ch. がピアノ演奏になっているか、よく確かめて演奏してください。

その他の質問は弊社 HP : www.magic-star.jp よりメール support@magic-star.jp へ、メールを送ってください。

データを駆使して、素晴らしい演奏を楽しんでください。

memories

大阪電気通信大学
サウンドデザイン研究室
Jun.2014

♩ = 84

First system of the musical score. It consists of a grand staff with a treble and bass clef. The time signature is 4/4. The tempo is marked as ♩ = 84. The first measure has a (hi hat) marking in the bass staff. The second measure has a *mp* (mezzo-piano) dynamic marking. The third measure has an FM7 chord above the treble staff. The fourth measure has a G chord above the treble staff. The fifth measure has an Em7 chord above the treble staff. The bass staff contains various chords and a (hi hat) marking.

Second system of the musical score. It consists of a grand staff with a treble and bass clef. The time signature is 4/4. The first measure has an Am7 chord above the treble staff. The second measure has a Dm7 chord above the treble staff. The third measure has an Esus4 chord above the treble staff. The fourth measure has an E chord above the treble staff. The fifth measure has an Asus4 chord above the treble staff. The sixth measure has an Am chord above the treble staff. The seventh measure has an F#7-5 chord above the treble staff. The bass staff contains various chords and a (hi hat) marking.

Third system of the musical score. It consists of a grand staff with a treble and bass clef. The time signature is 4/4. The first measure has an FM7 chord above the treble staff. The second measure has a G chord above the treble staff. The third measure has an Em7 chord above the treble staff. The fourth measure has a Gm7-5 chord above the treble staff. The fifth measure has a Dm7 chord above the treble staff. The bass staff contains various chords and a (hi hat) marking.

Fourth system of the musical score. It consists of a grand staff with a treble and bass clef. The time signature is 4/4. The first measure has a G7sus4 chord above the treble staff. The second measure has a CM7 chord above the treble staff. The third measure has a C7 chord above the treble staff. The fourth measure has an FM7 chord above the treble staff. The fifth measure has a G chord above the treble staff. The sixth measure has a *mf* (mezzo-forte) dynamic marking in the bass staff. The bass staff contains various chords and a (hi hat) marking.

Fifth system of the musical score. It consists of a grand staff with a treble and bass clef. The time signature is 4/4. The first measure has an Em7 chord above the treble staff. The second measure has an Am7 chord above the treble staff. The third measure has a Dm7 chord above the treble staff. The fourth measure has a G7sus4 chord above the treble staff. The fifth measure has a CM7 chord above the treble staff. The bass staff contains various chords and a (hi hat) marking.

First system of piano music. Chords: F#7-5, FM7, G, Em7, Gm7-5.

Second system of piano music. Chords: Dm7, G7sus4, Asus4, A, G#7-5. Dynamics: *f*. Markings: 8va.

Third system of piano music. Chords: GM7, A7, F#m7, Am7-5. Markings: 8va.

Fourth system of piano music. Chords: Em7, A7sus4. Markings: 8va.

Fifth system of piano music. Chords: DM7, G, DM7, G, DM7. Dynamics: *rit.* Markings: 8va.